

平面
立体
ICT

富山県南砺市立城端中学校 美術科 年間指導計画

※指導事項には、【共通事項(1)ア、イ】の表記を省略しています。

1年	月	4	4	5・6	7	9	9・10	10・11	11・12	12・1・2・3
	題材名	美術との出会い	スケッチの基礎	絵文字をつくろう	想像してみよう ～見立ての世界～	風神雷神図屏風 俵屋宗達から琳派	絵と詩のコラボレーション	お皿をつくろう ～陶芸～	ノーマンロックウェル 新しい隣人	模写にいたずら
指導事項	B(1)イ(ア)(イ)	A(2)ア(イ)	A(1)イ(ア)、(イ) (2)ア(ア)、(イ)	A(1)イ(ア) (2)ア(ア)(イ)	B(1)ア(ア)	A(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ) B(1)ア(ア)	A(1)イ(ウ) B(1)イ(ア)(イ)	B(1)ア(ア)	A(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ) B(1)ア(ア)	
学習内容	オリエンテーション ■図工から美術へ ■なんのために美術をやるのか ■生活の中の美術	スケッチ実習 ■鉛筆と消しゴムの使い方 ■左右同じ絵にするには ■対象物をよく見る	文字デザイン ■明朝体、ゴシック体 ■書体の与える印象 ■絵と文字の組み合わせ ■マス目拡大法 ■色の種類と混色 ■配色 ■平塗りの技法	写真加工 ■見立ての発想 ■描画ソフトの技能習得	鑑賞 ■日本の美術 ■絵画の読み取り ■構図の工夫 ■琳派の比較鑑賞 ■屏風に親しむ	モダンテクニック ■技法の体験 ■構成美の要素 ■【共通事項】表現と鑑賞の往還	陶芸 ■陶芸の文化・「用の美」の思想 ■用具の特性・活用 ■陶土の産地・性質 ■成型技法・加飾・施釉 ■生活を豊かにする工芸	鑑賞 ■西洋の美術 ■絵画の読み取り	模写 ■マス目拡大法 ■名画の鑑賞 ■絵の具の混色 ■彩色の技法 ■見立ての発想	
時数	1	3	12	4	2	4	4	3	12	
関連					国語(詩)		社会(伝統工芸)			

2年	月	4・5・6	7	9・10・11	11・12・1・2・3
	題材名	オリジナル富山もようのエコバッグ	長谷川等伯の世界 ～松林図屏風の謎～	水と墨を操る ～水墨画に挑戦～	世界で一つだけの印章 ～篆刻印をつくる～
指導事項	A(1)イ(ア)、(2)ア(ア)(イ) B(1)イ(ア)	B(1)ア(ア)	A(1)ア(ア)、(2)ア(ア) B(1)ア(ア)	A(1)イ(ア)、(2)ア(ア)(イ) B(1)イ(ア)(イ)	
学習内容	多版多色消しゴムはんこ ■モチーフの単純化、強調化 ■凸版の技法 ■浮世絵版画の技法(多版多色) ■構成美の要素(レイアウト)	鑑賞 ■水墨の表現(引き算の美学) ■なぜ松林図は名作なのか	水墨画 ■水墨画の技法 ■白と黒の表現 ■日本美術に親しむ	篆刻印・石彫刻 ■文字(名前)のデザイン ■朱と白のバランス ■石の彫刻 ■立体の捉え方	
時数	12	3	8	12	
連携	地域	社会	修学旅行(学校行事)	国語	

3年	月	4・5	5・6・7	9	9・10	11	11・12	1・2・3	3
	題材名	モンドリアンになる	木でつくる マイバタナフの制作	池田学の世界 ～「誕生」の鑑賞～	石の人 岩城信嘉	チャールズ・イームズ の世界	図で伝える ～サイン表示を考える～	今を生きる私へ ～15歳の自画像～	いま、 現代進行形の美術
指導事項	A(1)ア(ア)、(2)ア(ア) B(1)ア(ア)	A(1)イ(ウ) B(1)イ(ア)(イ)	B(1)ア(ア)	B(1)ア(ア)	B(1)ア(ア)、イ(ア)	A(1)イ(ア)(イ) B(1)イ(ア)(イ)、イ(ア)	A(1)ア(ア)、(2)ア(ア)(イ)	B(1)ア(ア)、イ(ア) (イ)	
学習内容	鑑賞 ■抽象画に親しむ ■モンドリアンがいかにして抽象画を開拓したか(りんごの木の連作から考える) ■線の分割によるバランス ■色と面積の関係	木工芸 ■小刀を使う ■用と美を考えたデザイン ■木材の加工 ■日常生活を彩る工芸	鑑賞 ■絵から読み取れるもの ■池田氏の思い	鑑賞 ■身近にあるモニュメント彫刻に親しむ ■地元作家の生き方に触れ ■抽象彫刻に触れる	鑑賞 ■イームズ夫妻が残したもの ■実験映像に触れる ■ミクロからマクロへの世界	サイン表示デザイン ■図だけで伝えることの奥深さ ■配置や間隔が意味するもの ■グラフィックデザインの仕事	自画像絵画 ■自己を振り返り、見つめる ■点描の技法 ■主題に沿った表現技法や画材の選択	鑑賞 ■現代アートに触れる ■同時代に生きるアートの存在 ■多岐にわたる表現	
時数	4	10	2	4	1	3	10	1	
連携		社会	道徳	地域	音楽		道徳		